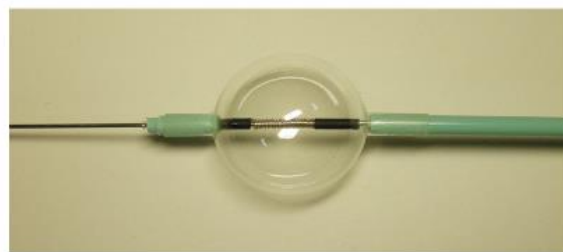


世界初！日本発！発作性心房細動治療用 高周波ホットバルーンカテーテルを開発

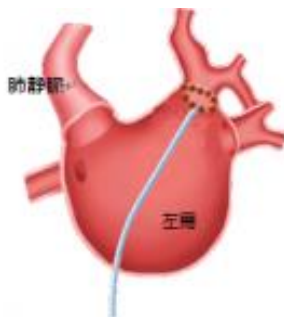
当院不整脈センター長 佐竹修太郎医師と東レ株式会社で共同開発しました発作性心房細動治療用カテーテルアブレーションシステム「SATAKEHotballoonカテーテル」、「SATAKEHotballoonジェネレータ」および「トレワルツ」につきまして2015年11月18日に厚生労働省の製造販売承認を取得いたしました。

【特徴】「SATAKEHotballoon」システムは、高周波バルーンカテーテル「SATAKEHotballoonカテーテル」、専用高周波発生装置『SATAKEHotballoonジェネレータ』およびカテーテル挿入用シース『トレワルツ』の3つの医療機器で構成されます。世界で初めての高周波を利用したバルーンによる心房細動治療用カテーテルアブレーションシステムです。

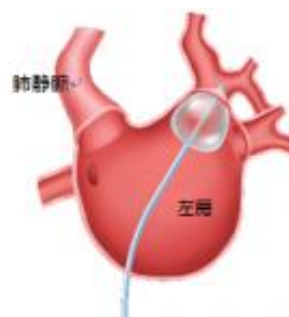
心房細動の治療は、薬物治療・カテーテルアブレーション・外科的手術等があります。現在のカテーテルアブレーションは、カテーテル先端の電極から直接高周波電流を心筋組織に流し点状に焼灼しますが「SATAKEHotballoonシステム」は、カテーテル先端に取り付けられたバルーンの中の液体を高周波電流で温めてバルーンと接触する組織を一度に広く熱伝導で焼灼します。電極が心筋組織に直接接触せずバルーン膜を介する間接的な加熱なので安全です。バルーンが柔軟な球形であることから、心房細動の主要な発生源である肺静脈の入口に円周上に接触させ、一度に焼灼することができるため短時間での心房細動治療が可能となると期待されます。



高周波ホットバルーンカテーテル



従来の技術



新技術

【今後の方針】

今後1年間は、葉山ハートセンターにて高周波ホットバルーンカテーテル治療法を実践できる術者を育成してきます。